



平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月7日

上場会社名 株式会社 ビューティ花壇
コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 須浪薫

TEL 03-5819-5670

四半期報告書提出予定日 平成24年5月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	3,240	4.8	85	△28.6	83	△29.2	87	△3.3
23年6月期第3四半期	3,090	2.4	119	△6.5	118	△11.1	90	70.5

(注) 包括利益 24年6月期第3四半期 80百万円 (△20.9%) 23年6月期第3四半期 101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	4,146.73	—
23年6月期第3四半期	4,201.09	4,184.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年6月期第3四半期	2,196	615	24.1	25,257.05
23年6月期	1,644	565	30.7	23,657.91

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 529百万円 23年6月期 505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
24年6月期	—	0.00	—	—	—
24年6月期(予想)	—	—	—	1,664.00	1,664.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,530	9.9	218	19.5	212	16.9	118	△5.6	5,548.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：有
新規 1社 (社名) 昇建設株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(その他)」に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期3Q	25,380 株	23年6月期	25,380 株
24年6月期3Q	4,427 株	23年6月期	4,032 株
24年6月期3Q	21,129 株	23年6月期3Q	21,518 株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるもののサプライチェーンの復旧に伴う生産活動については回復基調に推移いたしました。一方、欧米景気の停滞や円高の長期化に伴う輸出環境の悪化、企業の生産活動の停滞、雇用、所得環境の低迷等もみられ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。基本方針として、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップ、徹底的な経費削減を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、3,240,362千円（前年同期比4.8%増）となりました。売上総利益は、中期経営計画の1つである徹底したローコストオペレーションのために取り組んでいる加工物流センターへの設備投資と同センターにおける人材の先行雇用、教育費用が増加したことにより、557,434千円（前年同期比9.5%減）となりました。販売費及び一般管理費は、顧問料、支払手数料等を抑え471,962千円（前年同期比4.9%減）となり、営業利益は、85,472千円（前年同期比28.6%減）となりました。また、経常利益は、83,985千円（前年同期比29.2%減）、四半期純利益は、負ののれん発生益、法人税等により87,617千円（前年同期比3.3%減）となりました。

当第1四半期連結会計期間より、生花祭壇事業及びブライダル装花事業売上に対応する原価をより適切に示すため、売上原価及び販売費及び一般管理費の一部を組み替えによる表示の変更を行っており、遡及処理後の数値で当四半期連結累計期間の比較・分析を行っております。

また、前連結会計年度の期末より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、2,419,348千円（前年同期比2.9%増）となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成23年7月から平成24年2月までの売上高は383,406百万円（前年同期比3.8%増）、件数は270,210件（前年同期比4%増）と増加傾向にあります（同調査は、平成24年1月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成23年12月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております）。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底してまいりましたが、加工物流センターへの設備投資と同センターにおける人材の先行雇用、教育費用が増加したことにより営業利益は231,118千円（前年同期比24.5%減）となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、627,399千円（前年同期比8.7%増）となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」（平成24年2月）によると、平成23年7月から平成24年2月までの切花累計の数量は613百万本（前年同期比1%減）、金額では38,447百万円（前年同期比1%減）と数量、金額ベースで減少となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、当第3四半期連結累計期間の売上数量は前年同期比で22.4%増となっており、営業利益は129,529千円（前年同期比5.8%減）となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、193,615千円（前年同期比19.9%増）となりました。結婚式場業は少子化や晩婚化等の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成23年6月から平成24年2月までの結婚式場業の売上高は116,103百万円（前年同期比9.8%減）、取扱件数は39,576件（前年同期比9%減）と減少傾向にあります。当事業を請け負う連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップにより、売上高、売上総利益ともに改善し、営業利益は13,106千円（前年同期は896千円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ551,656千円増加し2,196,281千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ343,035千円増加し、1,378,688千円となりました。これは主に受取手形及び売掛金と完成工事未収入金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ208,621千円増加し817,592千円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ501,054千円増加し、1,580,665千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ305,748千円増加し、904,043千円となりました。これは主に、短期借入金と1年内返済予定の長期借入金の増加によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ195,306千円増加し、676,621千円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ50,603千円増加し、615,616千円となりました。これは主に、昇建設株式会社を連結子会社化したことに伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年8月10日発表の「平成23年6月期決算短信」に記載した通期業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年2月1日に昇建設株式会社の株式を取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より同社は連結子会社となりました。なお、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末としているため、当第3四半期会計期間は貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	515,811	606,412
受取手形及び売掛金	435,351	500,052
完成工事未収入金	—	131,331
商品	2,762	1,939
仕掛品	198	154
原材料及び貯蔵品	11,554	21,367
未成工事支出金	—	6,464
その他	73,114	125,976
貸倒引当金	△3,140	△15,011
流動資産合計	1,035,653	1,378,688
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	114,295	159,239
減価償却累計額	△56,382	△85,166
建物及び構築物(純額)	57,913	74,072
工具、器具及び備品	174,137	175,026
減価償却累計額	△115,536	△127,104
工具、器具及び備品(純額)	58,601	47,922
土地	122,842	166,008
建設仮勘定	—	193,889
その他	66,725	129,954
減価償却累計額	△11,373	△48,303
その他(純額)	55,352	81,650
有形固定資産合計	294,708	563,542
無形固定資産	15,625	5,966
投資その他の資産		
差入保証金	161,502	101,888
その他	158,806	167,794
貸倒引当金	△21,670	△21,599
投資その他の資産合計	298,638	248,082
固定資産合計	608,971	817,592
資産合計	1,644,625	2,196,281

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	75,783	128,676
短期借入金	40,500	122,000
1年内返済予定の長期借入金	193,560	319,038
未払法人税等	39,905	14,798
賞与引当金	—	21,613
その他	248,547	297,916
流動負債合計	598,295	904,043
固定負債		
社債	95,000	70,000
長期借入金	350,064	572,509
退職給付引当金	14,369	15,986
資産除去債務	—	889
その他	21,882	17,236
固定負債合計	481,315	676,621
負債合計	1,079,611	1,580,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	308,722	353,643
自己株式	△142,851	△158,539
株主資本合計	512,350	541,584
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△7,301	△12,373
その他の包括利益累計額合計	△7,301	△12,373
少数株主持分	59,964	86,405
純資産合計	565,013	615,616
負債純資産合計	1,644,625	2,196,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	3,090,689	3,240,362
売上原価	2,474,748	2,682,928
売上総利益	615,941	557,434
販売費及び一般管理費	496,263	471,962
営業利益	119,678	85,472
営業外収益		
受取利息	394	304
受取地代家賃	8,224	7,939
その他	3,957	7,517
営業外収益合計	12,576	15,762
営業外費用		
支払利息	8,173	7,493
不動産賃貸費用	3,140	2,915
その他	2,356	6,838
営業外費用合計	13,670	17,248
経常利益	118,583	83,985
特別利益		
固定資産売却益	1,501	—
移転補償金	40,271	—
負ののれん発生益	—	50,576
特別利益合計	41,772	50,576
特別損失		
固定資産除却損	7,656	14,875
その他	6,548	—
特別損失合計	14,204	14,875
税金等調整前四半期純利益	146,152	119,687
法人税、住民税及び事業税	55,200	44,437
法人税等調整額	△12,776	△10,379
法人税等合計	42,423	34,058
少数株主損益調整前四半期純利益	103,728	85,628
少数株主利益又は少数株主損失(△)	13,090	△1,988
四半期純利益	90,637	87,617

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	103,728	85,628
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,871	△5,072
その他の包括利益合計	△1,871	△5,072
四半期包括利益	101,856	80,556
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,701	85,081
少数株主に係る四半期包括利益	12,154	△4,525

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自平成22年7月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,351,705	577,230	161,521	3,090,456	233	3,090,689	—	3,090,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	680,946	10,808	691,755	—	691,755	△691,755	—
計	2,351,705	1,258,176	172,330	3,782,211	233	3,782,445	△691,775	3,090,689
セグメント利益又は損 失(△)	306,011	137,547	△896	442,662	△747	441,915	△322,236	119,678

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プランツスケープ事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△322,236千円には、セグメント間取引消去6,669千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△328,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,419,348	627,399	193,615	3,240,362	—	3,240,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	733,393	7,256	740,649	△740,649	—
計	2,419,348	1,360,792	200,871	3,981,012	△740,649	3,240,362
セグメント利益又は損 失(△)	231,118	129,529	13,106	373,753	△288,281	85,472

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△288,281千円には、セグメント間取引消去1,226千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△289,507千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結累計期間まで生花祭壇事業及び生花卸売事業の2つを報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度の期末より、生花祭壇事業、生花卸売事業及びブライダル装花事業の3つの報告セグメントに変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当社は、平成24年2月1日に昇建設株式会社の株式を取得し、連結子会社化したことで、当第3四半期連結累計期間に、負ののれん発生益50,576千円を計上しております。なお、当該負ののれん発生益は報告セグメントに配分しておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成24年3月31日)

該当事項はありません。